

## 医療系学生のための 「トータルヘルスケアワークショップ・フィールドワーク」

### ◆医療系学生のための「トータルヘルスケアワークショップ・フィールドワーク」とは

平成 17 年度 文部科学省の「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」(医療人 GP)に、新潟大学医歯学総合病院の「中越地震に学ぶ赤ひげチーム医療人の育成」プログラムが採択され、その中の学部教育の一環として平成 18 年 3 月 13 日~15 日に第 1 回「学部学科を越えた学生によるワークショップ・フィールドワーク」が開催されました。以来、毎年 2 回、現在までに通算 18 回行われています。

平成 26 年 3 月より、多職種連携に重点をおき、口腔ケアや地域医療も視野に入れた「トータルヘルスケアワークショップ・フィールドワーク」として新たにリニューアルして開催しています。

### ◆目的

学校・学部・学科・学年を問わず幅広く医療系の学生が集まり、一緒に多職種連携・地域医療・口腔ケアについて考え、体験することで相互に理解を深め、チーム医療の大切さや多職種連携・口腔ケアの魅力を感じてもらうこと。

### ◆参加者の声

第 1 回開催より 7 年間で、延べ 200 人を超える参加者がこのワークショップ・フィールドワークを通して地域医療について学ぶことができました。新潟大学医学部医学科・保健学科、新潟大学歯学部歯学科・口腔生命福祉学科、新潟大学 法学部、新潟医療福祉大学、新潟薬科大学薬学部、新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学科、北海道 大学大学院医学研究科などから参加いただき、学年も様々です。

様々な分野の方の視点からの意見、感想を聞くことが出来て、いつも「医者」の中にしかいない自分にとってとても新鮮で為になった。

～新潟大学医学部医学科5年～

職場においては、相互的にチームで関わっていく医療者である。自分の知っている世界だけでなく、他職種との共有を深めていくことが、今後の医療に必要であると学んだ。

～新潟大学医学部保健学科3年～

他学科の方たちから見た問題点や課題の抽出など非常に新鮮でした。このワークショップに参加しなければ出会わなかった方々との交流が、短期間でしたが私の中でとても大きかったです。

～新潟大学歯学部口腔生命福祉学科2年～

訪問先の患者の方々ととても親しげに医師が話しているのを見て、なんだか楽しそうに思えた。地域医療は大変でしかないというイメージを持っていたが、それが改められた。

～新潟大学歯学部歯学科2年～

初めて自分の目で地域医療の現場を見てみると、今まで持っていたマイナスの面での先入観や価値観を変えることができました。

「やりたくない」と思っているということではないのだな…というように感じました。それぞれの人が笑顔で、そしてやりがいを持って行っているということは素晴らしいことだと思いました。

～新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学科3年～

今後は更に幅広く医療・看護・福祉の勉強をされている学生さんを対象に、トータルヘルスケアの輪を広げていきたいと考えています。医療系学生であれば、学校・学部・学科・学年は問いません。

#### ◆プログラム

トータルヘルスケアワークショップ・フィールドワークは、3日間に渡って行われます。

1日目のワークショップでは、参加者がグループに分かれて互いに意見交換をし、「多職種連携・地域医療・口腔ケア」について一緒に考えていきます。

そして翌日のフィールドワークの目標を立てます。

2日目のフィールドワークでは、グループ別に、それぞれの行先へワークショップの成果と目標を持って実際の現場を体験しに出掛けます。

3日目はワークショップとフィールドワークのまとめとして互いの体験について発表・意見交換を行ない、レポートを作成します。